

高等学校 地理A 学習指導案

日 時 平成〇年〇月〇日 〇校時

授業者 〇〇〇〇

1 単元名 中央・南アメリカの暮らしを学ぶ (3 / 3時)

2 本時の指導

(1) 目標

○中央・南アメリカの生活と文化を地理的環境や民族性、日本との関連で捉えることができる。

(2) 授業構想


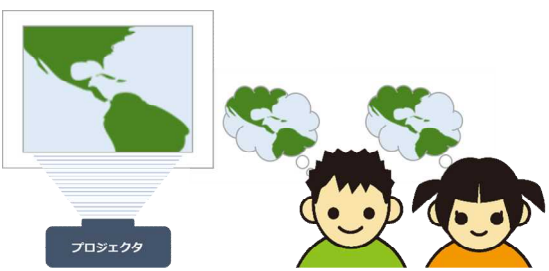

本時では、中央・南アメリカの代表国であるブラジルの産業に注目しながら、その生活と文化を地理的環境や民族性、日本との関連において捉えることを目標としている。そこで、学習課題を「なぜ、多くの日系人が日本に住んでいるのか」として、授業を展開し、この課題を一人一人が考え、グループワークにおいて考えを深めるとともに共有を図っていきたいと考えた。

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	工夫
導入 (10分)	1 学習課題の提示	・本時の学習課題(考えさせたいこと)「なぜ多くの日系人が日本に住んでいるのか?」について、動画「ブラジル移民 100年」を見た上で提示する。	① 焦点化
	2 授業プリントの配布	・授業プリントで本時の内容を概観する。	② 視覚化
展開① (15分)	南米の大国ブラジル 3 産業の発展	・既習の語句「モノカルチャー経済」の確認をする。 ・鉄山の位置をプロジェクタに投影した地図と地図帳で確認する。 ・「モノカルチャー経済」からの脱却に向かうブラジルの実像に気付くための発問をする。 ・日本との貿易に触れる。	③ 視覚化
展開② (20分)	日本との深いつながり 4 日本に住む日系ブラジル人、ペルー人 5 グループワーク 6 発表	・群馬県大泉町をロケ地にしたビデオクリップ(動画「群馬でブラジルの風に吹かれる」)を観て、日本と深いつながりがあることに気付くよう発問する。 ・ここまでの学習を基に「なぜ多くの日系人が日本に住んでいるのか?」についてグループで話し合う。 ・各グループの発表により共有する。	④ 共有化
まとめ (5分)	7 カードに本時の振り返りを記入する。	・カードに学んだことや感想、質問事項等を記入させ、生徒と授業者との双方向の機会を作る。	

3 評価

○中央・南アメリカの生活と文化を地理的環境や民族性、日本との関連で捉えることができたか。

	写 真	説 明
①	 <p>地理 GEOGRAPHY ここに注目！ラテンアメリカ ～多様な社会～</p>	<p>【焦点化】</p> <p>導入では、動画を見せた上で学習問題を提示しました。</p> <p>生徒たちの実態として、ブラジルに関する知識には個人差がありましたが、動画を見ることで、ブラジルの現状という基礎知識や「なぜだろう。」という疑問を全員がもつことができ、本時の学習問題が明確になりました。</p>
②	<p>中央・南アメリカの暮らしを学ぶ③</p> <p>学習 なぜ多くの日系人が日本に住んでいる課題 のか？</p> <p>学習課題を明記</p> <p>動画の URL、QR コードを掲載</p> <p>日本との気候のつながり</p> <p>＜感想＞</p> <p>＜質問事項＞</p>	<p>【視覚化】</p> <p>ワークシートで、思考の過程と文章表現の手助けとなる理論構造の見える化を図りました。</p> <p>ヘッダーに「学習課題」を明記し、黒板にも板書しました。また、生徒に分かりやすいように小見出しは教科書中のものと同一にしました。生徒が把握しやすいようにB5プリント1枚に収まる分量としました。</p> <p>授業中に見せる動画の URL、QR コードを記載し、後から自分で繰り返し視聴できるようにしました。自分のペースで視聴し、復習する様子が見られました。</p>
③	 <p>プロジェクタ</p>	<p>【視覚化】</p> <p>プロジェクタに地図を投影し、全員が一斉に確認できるようにしました。</p> <p>見て理解することに弱さのある生徒にも、注目すべき場所が分かり、国や鉱山の位置などを確認しながら学習を進める様子が見られました。</p>
④		<p>【共有化】</p> <p>少人数で話し合う活動を取り入れたことによって、全員が集中力を持続できました。</p> <p>これまでに学んだ知識を統合することに弱さのある生徒にとって、友達の意見が手掛かりとなり、考えを深めることができました。</p> <p>グループでまとめたことを発表し合うことによって全体で共有することができました。</p>

指導案に戻る

指導案に戻る

指導案に戻る

指導案に戻る